

授業科目名	精神看護学概論(2300220)		
時間割名	精神看護学概論(23205)		
時間割担当	東中須恵子		
実施期	後期	単位数	2 必修
曜日・時限	火・3		

授業の目標・概要

心の健康状態と身体や生活行動との関連を統合的、システムの理解する視点を学ぶ。また、現代社会に生きる人々が直面する精神的諸問題と、行われている精神的健康の保持・増進および精神障害の予防について学習する。さらに、精神保健・医療・福祉が展開される場における看護の役割や精神看護専門看護師の役割・機能について理解する。

学習の到達目標

- 1.精神保健を広義に捉えることができる。
- 2.ライフサイクルと精神発達の特徴について理解できる。
- 3.人の精神健康が環境に大きく影響を受けることが理解できる。
- 4.精神保健看護の役割と機能が理解できる。

授業方法・形式

講義（一部グループワーク）

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
精神保健の基本的な考え方、精神保健とは何か？
- 第2回 精神の健康の捉え方
精神の健康を示す4つの基準
- 第3回 こころの発達と健康
心理、社会、親子関係・家族内葛藤など
- 第4回 日本人の生活と精神保健
日本人の心と家庭環境の変化、現代社会とこころの病
- 第5回 こころの発達と健康
なぜこころの発達を学ぶのか？発達の原則
- 第6回 病気と精神保健
こころの病気が精神の健康に及ぼす影響
- 第7回 健康な対人関係の意味
健康な対人関係の要素と特徴
- 第8回 ストレスと精神保健
セリエのストレス概念、ライフイベント型ストレス
- 第9回 環境と精神保健
精神の健康に影響を及ぼす環境要因
- 第10回 精神保健から見た家族の機能
家族に見られる精神保健問題
- 第11回 精神保健から見た学校・職場
精神保健から見た学校の役割、職場の課題と対応
- 第12回 地域社会と精神保健
障害（碍）者プラン7つの視点と重点施策
- 第13回 性と精神保健
どう考える性アイデンティティ
- 第14回 ライフサイクルから見た精神保健
ライフステージとこころの発達課題；フロイト・エリクソン
- 第15回 精神保健と社会資源
活用できる資源

成績評価の基準

定期試験60%、小レポート30%、質疑応答10%

授業時間外の課題

配付した資料や授業内容について、毎日必ず復習をすること。国試対策にもなるのでノートに整理するなど学習したことがリフレクションできる形式がよい。

メッセージ

90分は「無」の世界。互いの知見に関心を持ち合う関係でいたいと願っています。

教材・教科書

5月に出版されるテキストを利用して授業をおこないます（2,500円程度）。

参考書

塚本一・東中須恵子編、心を病む人とのコミュニケーション - 医療現場からの提言 - 、大学教育出版